

行政評価（継続事業）
第2編第3章 地域に根ざした市民文化を創る

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由								
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度									19年度	20年度						
8	助成・育成	教育普及事業	教育委員会 美術館	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】教育普及活動の充実を図り、市民の美術に対する関心と理解を深め、開かれた美術館の運営を推進する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・美術教室の開催(定員20~25名、年6回) ・美術講演会の開催(年2回) ・ライブラリー書籍等の充実 ・全国美術館、学校、出版社、ギャラリー等へ展覧会ポスター等を配布	市単	[概算コスト] 4,780 (内訳) ・決算額 2,657 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 5,615 (内訳) ・決算額 3,492 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 5,309 (内訳) ・決算額 3,134 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 5,722 (内訳) ・決算額 3,575 ・人件費 2,147 (0.50人)	美術教室講演会の開催回数 (単位:回)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	美術教室講演会の参加者数 (単位:人)	[目標値] 220 [実績値] 245 <達成率> 111.4%	[目標値] 220 [実績値] 230 <達成率> 104.5%	[目標値] 220 [実績値] 273 <達成率> 124.1%	[目標値] 220 [実績値] 220 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 市民の教育、学術及び文化の向上に資するため必要な事業であるが、経験者を対象とするような高度な内容の講座などは受益者負担の観点から受講料の徴収について検討する必要がある。
9	イベント	市民公募展事業	教育委員会 美術館	○事業開始年度 平成17年度 【概要】市民の創作した作品をジャンルを問わず幅広く公募し、無審査で展示することによって、市民の自発的な芸術文化活動の輪を広げる。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・市民の創作した作品を幅広く公募し、無審査で展示 ・観覧者の人気投票等により、表彰する。	市単	[概算コスト] 2,428 (内訳) ・決算額 730 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 2,359 (内訳) ・決算額 661 ・人件費 1,698 (0.40人)	[概算コスト] 2,436 (内訳) ・決算額 696 ・人件費 1,740 (0.40人)	[概算コスト] 2,472 (内訳) ・決算額 754 ・人件費 1,718 (0.40人)	市民公募展の開催回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	市民公募展の応募点数 (単位:点)	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 103 <達成率> 103.0%	[目標値] 100 [実績値] 51 <達成率> 51.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	△	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	Ba	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 市民の自発的な芸術文化活動の輪を広げるために必要な事業であるが、応募作品数が減少していることから、優秀作品については一定期間展示を行うなど、賞や作品展示のあり方を見直すとともに、幅広い年齢層から応募がなされるように、広報活動を強化する必要がある。
10	施設維持・管理	市民文化ホール施設整備事業	総務局 総務課	○事業開始年度 昭和57年度 【概要】開館から25年が経過し、舞台設備等の老朽化・旧式化が顕著となっていることから、舞台設備改修工事及びその他施設整備改修工事を行うもの。 【対象者】鹿児島市民文化ホール利用者 【具体的な活動内容】 平成18年度に第一ホールを19年度に第二ホールの舞台設備(照明・音響・機構)等の改修工事を行い、20年度は市民ホールについて改修工事を行う予定である。	市単	[概算コスト] 137,282 (内訳) ・決算額 136,008 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 529,930 (内訳) ・決算額 528,656 ・人件費 1,274 (0.30人)	[概算コスト] 445,173 (内訳) ・決算額 443,868 ・人件費 1,305 (0.30人)	[概算コスト] 196,581 (内訳) ・決算額 195,293 ・人件費 1,288 (0.30人)	改修工事発注件数 (単位:件)	[目標値] 4 [実績値] 5 <達成率> 125.0%	[目標値] 7 [実績値] 10 <達成率> 142.9%	[目標値] 8 [実績値] 9 <達成率> 112.5%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	ホール等の良好な管理及び設備の維持	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 開館から25年が経過し、舞台設備等の老朽化・旧式化が顕著となっており、良好な施設環境の維持を図る必要がある。
11	施設維持・管理	谷山サザンホール施設整備事業	総務局 総務課	○事業開始年度 平成5年度 【概要】開館から18年が経過し、舞台設備等の老朽化が進んできていることから、施設設備の計画的な改修工事等を行うもの。 【対象者】谷山サザンホール利用者 【具体的な活動内容】 舞台機構設備の吊物用ワイヤーロープ類や制御機器などの取替工事等を行っている。	市単	[概算コスト] 5,622 (内訳) ・決算額 5,410 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 9,347 (内訳) ・決算額 9,135 ・人件費 212 (0.05人)	[概算コスト] 9,151 (内訳) ・決算額 8,933 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 7,365 (内訳) ・決算額 7,150 ・人件費 215 (0.05人)	改修工事発注件数 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 2 <達成率> 200.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	ホール等の良好な管理及び設備の維持	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 開館から18年が経過し、舞台設備等の老朽化が進んできていることから、良好な施設環境の維持を図る必要がある。	
12	啓発・広報	文化施設ガイドブック作成事業	教育委員会 文化課	○事業開始年度 平成10年度 【概要】市内の文化施設のガイドブックを作成し、小学4年生を対象に、全員へ配布する。 【対象者】小学4年生 【具体的な活動内容】 市内の小学生がガイドブックを携帯し、市内の文化施設を見学及び体験することで、郷土の良さを実感し、文化施設のネットワーク化による総合的な子どもの興味と関心をひきだし、創造力を身につける。各文化施設ごとにクイズを設定したり、記録のページや記念スタンプの欄を設けるなど、子どもの興味を喚起する工夫を凝らしている。	市単	[概算コスト] 1,058 (内訳) ・決算額 633 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,091 (内訳) ・決算額 666 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 1,076 (内訳) ・決算額 641 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 1,051 (内訳) ・決算額 622 ・人件費 429 (0.10人)	配布冊数 (単位:冊)	[目標値] 6,550 [実績値] 6,550 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,334 [実績値] 6,334 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,100 [実績値] 6,100 <達成率> 100.0%	[目標値] 5,920 [実績値] 5,920 <達成率> 100.0%	自発的学習の促進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 本市の歴史・文化に対する理解を深めるとともに学校の教育活動に広がりを持たせるために必要である。	
13	市民サービス	移動図書館	教育委員会 図書館	○事業開始年度 平成2年度 【概要】移動図書館車による図書巡回貸出、移動図書館フェスティバル開催 【対象者】図書館及び地域公民館図書室を利用しにくい市民 【具体的な活動内容】 ・移動図書館車2台で約56カ所のステーションを巡回し、図書の貸出サービスを行っている。年間巡回日数は約140日 ・移動図書館フェスティバルを年1回開催(7月)	市単	[概算コスト] 15,654 (内訳) ・決算額 15,229 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 15,230 (内訳) ・決算額 14,805 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 15,665 (内訳) ・決算額 15,230 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 15,579 (内訳) ・決算額 15,150 ・人件費 429 (0.10人)	1ヶ所当りの移動図書館巡回回数 (単位:回)	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	年間貸出冊数 (単位:冊)	[目標値] 65,000 [実績値] 63,529 <達成率> 97.7%	[目標値] 65,000 [実績値] 58,337 <達成率> 89.7%	[目標値] 60,000 [実績値] 53,213 <達成率> 88.7%	[目標値] 60,000 [実績値] 60,000 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 利用者数が減少傾向にあり、利用者のニーズも低下してきていることから、巡回ステーションの縮小を含め、事業のあり方を見直す必要がある。	
14	その他	図書館資料の充実(資料整備)	教育委員会 図書館	○事業開始年度 平成2年度 【概要】図書館・公民館図書室・移動図書館の図書資料の整備・充実 【対象者】図書館・公民館図書室の利用者 【具体的な活動内容】 幼児からお年寄りまで、市民の多種多様な知的ニーズに対応できるように、より一層図書資料の整備充実を図り、多くの市民に利用される魅力ある図書館を目指す。	市単	[概算コスト] 81,240 (内訳) ・決算額 72,750 ・人件費 8,490 (2.00人)	[概算コスト] 81,239 (内訳) ・決算額 72,749 ・人件費 8,490 (2.00人)	[概算コスト] 81,441 (内訳) ・決算額 72,741 ・人件費 8,700 (2.00人)	[概算コスト] 79,862 (内訳) ・決算額 71,274 ・人件費 8,588 (2.00人)	図書購入冊数 (単位:冊)	[目標値] 36,000 [実績値] 35,531 <達成率> 98.7%	[目標値] 36,000 [実績値] 35,423 <達成率> 98.4%	[目標値] 36,000 [実績値] 36,076 <達成率> 100.2%	[目標値] 34,000 [実績値] 34,000 <達成率> 100.0%	貸出冊数 (単位:冊)	[目標値] 1,503,000 [実績値] 1,507,346 <達成率> 100.3%	[目標値] 1,509,000 [実績値] 1,538,838 <達成率> 102.0%	[目標値] 1,507,000 [実績値] 1,536,389 <達成率> 102.0%	[目標値] 1,511,000 [実績値] 1,511,000 <達成率> 100.0%	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	現状のまゝ継続 (理由) 市民の多種多様な知的ニーズに対応するため、図書資料の整備充実を図る必要がある。	

行政評価（継続事業）
第2編第3章 地域に根ざした市民文化を創る

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				達成度	妥当性	効率性	有効性	公平性	受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度									
15	助成・育成	椋鳩十児童文学賞事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成2年度 【概要】日本を代表する児童文学者椋鳩十氏の業績を顕彰するとともに、若い児童文学者を発掘し、鹿児島を児童文学の情報発信の拠点とする。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・椋鳩十児童文学賞作品募集及び表彰 ・子どもたちに聞かせたい創作童話作品募集及び表彰	市単	[概算コスト] 15,259 (内訳) ・決算額 13,136 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 14,441 (内訳) ・決算額 12,318 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 14,901 (内訳) ・決算額 12,726 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 16,804 (内訳) ・決算額 14,657 ・人件費 2,147 (0.50人)	授賞式祝賀会回数 (単位:回)	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 達成率 100.0%	授賞式祝賀会参加者数 (単位:人)	[目標値] 390 [実績値] 390 達成率 100.0%	[目標値] 390 [実績値] 390 達成率 100.0%	[目標値] 440 [実績値] 440 達成率 100.0%	[目標値] 440 [実績値] 440 達成率 100.0%	◎ ◎ ◎ ◎ △ ○ △ ○ ○ △	Ba Ba	Ba Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 事業の開始から20年近く経つことから、当文学賞の市民への認知度をさらに高め、より一層市民への浸透を図るとともに、当文学賞を通じた本市のPRの強化について検討する必要がある。 さらに、祝賀会開催経費等を見直すなどコスト削減を検討すべきである。			
16	啓発・広報	歴史・文化資産のデジタル化推進事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成12年度 【概要】本市の貴重な歴史・文化資産や、市内の史跡・文化財、伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化し、インターネットを活用して情報を世界に向けて発信。 【対象者】鹿児島市民を中心とする利用希望者(アメリカ等海外からの利用も多い) 【具体的な活動内容】鹿児島市地域情報化計画に基づき、市立美術館、かごしま近代文学館・メルヘン館などに収蔵されている本市の貴重な歴史・文化資産や、市内の史跡・文化財、伝統工芸、郷土芸能等をデータベース化し、インターネットを活用して情報を広く発信する。	市単	[概算コスト] 27,439 (内訳) ・決算額 27,439 ・人件費 0	[概算コスト] 28,160 (内訳) ・決算額 28,160 ・人件費 0	[概算コスト] 14,442 (内訳) ・決算額 14,442 ・人件費 0	[概算コスト] 3,794 (内訳) ・決算額 3,794 ・人件費 0	登録数 (単位:件)	[目標値] 3,650 [実績値] 3,632 達成率 99.5%	[目標値] 3,650 [実績値] 3,672 達成率 100.6%	[目標値] 3,650 [実績値] 3,678 達成率 100.8%	[目標値] 3,700 [実績値] 3,700 達成率 100.0%	アクセス件数 (単位:件)	[目標値] 32,000 [実績値] 30,512 達成率 95.4%	[目標値] 33,000 [実績値] 33,160 達成率 100.5%	[目標値] 34,000 [実績値] 34,771 達成率 102.3%	[目標値] 35,000 [実績値] 35,000 達成率 100.0%	◎ ◎ ◎ ◎ △ △ ◎ △ ◎ ○	Ba Ba	Ba Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 本市の貴重な文化・歴史資産について広く情報発信することは必要であるが、セキュリティの脆弱性の改善が必要とされており、利便性の向上とあわせて見直しを検討する必要がある。			
17	調査・研究	文化財保護管理事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 昭和37年度 【概要】重要文化財旧鹿児島紡績所技師館等の文化財の保存活用及び公開をすることにより文化財愛護思想の普及を図る。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・文化財審議会の開催 ・特別天然記念物喜入のリュウキュウコウガイ産地の保護管理 ・重要文化財旧鹿児島紡績所技師館(異人館)の保存管理 ・国指定名勝旧島津氏玉里邸庭園の保存管理 ・その他文化財の保存管理及び調査 ・文化財説明板等の設置	市単	[概算コスト] 14,637 (内訳) ・決算額 12,854 ・人件費 1,783 (0.42人)	[概算コスト] 16,479 (内訳) ・決算額 14,356 ・人件費 2,123 (0.50人)	[概算コスト] 14,403 (内訳) ・決算額 12,228 ・人件費 2,175 (0.50人)	[概算コスト] 17,154 (内訳) ・決算額 14,792 ・人件費 2,362 (0.55人)	保存管理等を行った文化財件数 (単位:件)	[目標値] 33 [実績値] 221 達成率 669.7%	[目標値] 33 [実績値] 37 達成率 112.1%	[目標値] 33 [実績値] 43 達成率 130.3%	[目標値] 48 [実績値] 48 達成率 100.0%	異人館等への入館者数 (単位:人)	[目標値] 3,300 [実績値] 2,197 達成率 66.6%	[目標値] 3,300 [実績値] 2,988 達成率 90.5%	[目標値] 3,300 [実績値] 3,557 達成率 107.8%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,500 達成率 100.0%	◎ △ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ◎ ◎	A A	A A	現状のまじ継続 (理由) 本市の歴史・文化に関する市民の理解を深めるため文化財の保存・活用を図ることは必要である。			
18	助成・育成	郷土芸能保護事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成元年度 【概要】郷土芸能が正しく保存継承されるようにする。 【対象者】郷土芸能団体 【具体的な活動内容】 ・用具の補修等に要する経費の助成 基礎額20万円に、必要額から20万円を控除した額に1/2を乗じて得た額を加えた額とし、上限を60万円とする。ただし、必要額が20万円以下の場合には、その額を補助額とする。 ・後継者育成等に要する経費の助成 1年度あたり10万円とし、連続する3年度を限度として交付。 ・記録映像作成業務	市単	[概算コスト] 4,753 (内訳) ・決算額 4,328 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 5,332 (内訳) ・決算額 4,907 ・人件費 425 (0.10人)	[概算コスト] 4,416 (内訳) ・決算額 3,981 ・人件費 435 (0.10人)	[概算コスト] 4,983 (内訳) ・決算額 4,554 ・人件費 429 (0.10人)	助成団体 (単位:団体)	[目標値] 17 [実績値] 16 達成率 94.1%	[目標値] 20 [実績値] 16 達成率 80.0%	[目標値] 19 [実績値] 15 達成率 78.9%	[目標値] 15 [実績値] 15 達成率 100.0%	活動団体数 (単位:団体)	[目標値] 46 [実績値] 45 達成率 97.8%	[目標値] 45 [実績値] 44 達成率 97.8%	[目標値] 44 [実績値] 44 達成率 100.0%	[目標値] 44 [実績値] 44 達成率 100.0%	○ ○ ◎ ○ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○	A Ba	Ba Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 郷土芸能の正しい伝承のために必要であり、後継者の育成について、効果的な助成方法を検討するとともに、記録映像について、ビデオの貸出のほか、授業での活用、ホームページでの情報提供など積極的な活用策を検討する必要がある。			
19	助成・育成	鹿児島市指定文化財保護事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成10年度 【概要】文化財の適正な保存・伝承 【対象者】市内に所在する指定文化財の管理団体等 【具体的な活動内容】 多額の経費等を必要とする管理団体等に保存・伝承等にかかる経費の一部を助成する。 補助額:交付対象経費から、国庫補助決定額及び県費補助決定額を差し引いた額の2分の1以内の額 現在の対象:福昌寺跡、天吹、薩摩琵琶	市単	[概算コスト] 520 (内訳) ・決算額 350 ・人件費 170 (0.04人)	[概算コスト] 620 (内訳) ・決算額 450 ・人件費 170 (0.04人)	[概算コスト] 474 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 174 (0.04人)	[概算コスト] 472 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 172 (0.04人)	指定文化財への助成件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	保存された指定文化財件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0%	◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	Ba Ba	Ba Ba	事業手段の見直し(手段の改善等) (理由) 文化財の適正な保存・伝承のため、現行の助成対象や助成額等について、見直しを検討する必要がある。			
20	調査・研究	ふるさと文化財発見事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成18年度 【概要】合併後、新たに鹿児島市に加わった旧5町地域の文化財の所在・分布状況調査を行い、その内容を「かごしまデジタルミュージアム」により市民に広く周知し、文化財愛護思想の啓発を行うとともに地域への愛着を高める。また、学校教育や社会教育などの教材として、さらに本市の魅力高める貴重な観光資源として活用するために「史跡めぐりガイドブック」等を作成する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・文化財の所在確認調査 ・遺跡の分布状況調査	市単	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 2,420 (内訳) ・決算額 637 ・人件費 1,783 (0.42人)	[概算コスト] 2,658 (内訳) ・決算額 831 ・人件費 1,827 (0.42人)	[概算コスト] 1,387 (内訳) ・決算額 657 ・人件費 730 (0.17人)	活動日数 (単位:日)	[目標値] 100 [実績値] 102 達成率 102.0%	[目標値] 100 [実績値] 108 達成率 108.0%	[目標値] 100 [実績値] 108 達成率 108.0%	[目標値] 100 [実績値] 108 達成率 108.0%	確認件数 (単位:件)	[目標値] 150 [実績値] 254 達成率 169.3%	[目標値] 200 [実績値] 307 達成率 153.5%	[目標値] 100 [実績値] 100 達成率 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 達成率 100.0%	◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	A A	A A	現状のまじ継続 (理由) 文化財愛護思想の啓発や、地域への愛着心を高めるため、各地域に点在する文化財及び遺跡の所在を調査し、広く市民に情報発信することは必要である。			
21	施設維持・管理	玉里邸庭園整備事業	教育委員会文化課	○事業開始年度 平成19年度 【概要】旧島津氏玉里邸庭園の国の名勝指定を受け、同庭園本来の魅力を取り戻すように修復元を図るとともに、市民の憩いの場や観光施設として活用できるようにする。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・国庫補助申請手続き ・修復整備	国・県補助	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 0	[概算コスト] 4,264 (内訳) ・決算額 3,916 ・人件費 348 (0.08人)	[概算コスト] 48,876 (内訳) ・決算額 47,459 ・人件費 1,417 (0.33人)	具体的な整備事業項目数 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 1 達成率 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 達成率 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 達成率 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 達成率 100.0%	整備後の庭園入園者数 (単位:人)	[目標値] 500 [実績値] 1,004 達成率 200.8%	[目標値] 500 [実績値] 500 達成率 100.0%	[目標値] 5,000 [実績値] 5,000 達成率 100.0%	[目標値] 5,000 [実績値] 5,000 達成率 100.0%	◎ ○ ◎ ◎ ○ ◎ ○ ○ ◎ ○	A A	A A	現状のまじ継続 (理由) 国の名勝指定を受けた旧島津氏玉里邸庭園の修復元整備は、高い文化的価値を有する同庭園の魅力を取り戻し、活用を図るために必要である。			

